

愛正会記念茨城福祉医療センター「チェリタン」
2019年度 児童発達支援 自己評価表

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			定員に対して確保できています。
	2 職員の配置数は適切か	○			配置基準を満たしています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリーに対応しております。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		今後アンケート等で保護者、利用児の満足度を把握し、業務改善へつなげるように検討します。
	5 保護者からのモニタリング等で聞き取りを行い、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的にモニタリングを行っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開いたします。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善を業務改善につなげているか			○	今後外部評価導入を検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修を勧めたり、情報提供、勤務調整を行い、研修参加を促しています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか	○			十分に聞き取りを行い、計画作成に反映できるようにしています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	特に定められたアセスメントツールはなく、今後導入を検討しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で話し合い立案しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			色々な活動を提供できるように研修等検討していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して支援しているか			○	休日、長期休暇の活動設定を、よりきめ細やかにできるように検討します。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成しているか	○			集団活動や個別活動を設け、それぞれに対応しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼で、当日の支援内容や服薬、医療ケアの共通確認を行っています。

愛正会記念茨城福祉医療センター「チェリタン」
2019年度 児童発達支援 自己評価表

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援後に担当者が個別に記録を行い、職員間で支援が統一できるように対応し、またカンファレンスを行い、支援方法の検討を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日個別の記録を残し、支援計画等の修正や支援方法の検討に使用しています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、評価・修正を行っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドライン総則に基づき各々のニーズに合わせた支援を目指しています。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者が参画しています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者を通して確認の他に直接学校との連絡をとりながら適切な支援ができるようにしています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			契約時に利用が可能であるか、医療ケアや緊急時の対応の指示書を提出していただき、活用しています。
	23 学校や他機関、他事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			学校や他事業所と連絡を密にするように努め、情報共有に努めています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	25 子育て支援センターや専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			リハビリ科等と連携し、必要に応じ助言を受けています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		センターの保育施設や近隣施設との交流する機会を設けます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会へ参加し、情報の共有をしています。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			モニタリング等に加え、送迎時に保護者との会話の機会を大切にしています。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		療育や医療的ケアで相談があれば対応させていただいております。	

愛正会記念茨城福祉医療センター「チェリタン」
2019年度 児童発達支援 自己評価表

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30 運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に、重要事項説明書等に沿って説明させて頂いております。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば助言させていただき、必要があれば、関係機関等と連携します。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の会はないが、保育参観時に保護者同士の連携を支援しています。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情の窓口を設け、訴えがあった場合には職員へ周知し対応策を考え改善しています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	法人全体としての会報誌は発行しており、不定期ではありますが情報を掲載されることがあります。
	35 個人情報に十分注意している	○			契約時に個人情報について説明し、承諾書を使用し確認をとっています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			1人ひとりに合わせた意思疎通の方法を摸索し、対応しています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後検討していきます。
非常時などに対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		それぞれのマニュアルがあり、感染については学校保健法に基づいた書類を作成し、保護者に説明を行っています。感染管理対策委員会と連携をとり、センター全体として感染対策を行っています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、様々な状況を想定した避難訓練を実施しています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部研修等行っています。今後外部での研修等にも積極的な参加を目指しています。
	41 どのような場合にやむ得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の必要な利用児には説明を行い、承諾書を保護者に渡し確認していきます。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーについての勉強会を実施し、スタッフへの教育を行っています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			センター内共通のインシデントレポートに記入し、他のレポートが自由に閲覧できるように対応しています。医療安全委員会より、インシデントレポートを振り返り事例検討を行いました。